

【佳作】

## 「齒舞だからこそ」

根室市立齒舞小中学校  
2年 滝本 優月

「返せ！北方領土！」

この言葉は、もう七十年余りも言い継がれています。

日ロ首脳会談はたびたび行われていますが、北方領土問題については、一向に話が進んでないと言っても過言ではありません。

今の私たちができることは、北方領土について、できる限り学び、どうしたら解決できるのかを考えること。また、北方領土問題についての話し合いや、地域活動に参加し、貢献していくことが大切だと思います。すぐにできる簡単なことではありませんが、少しずつ問題に向き合っていくと、一歩でも解決に向かっていけると思います。

実際に私は、昨年の冬に行われた北方領土についての話し合いに参加し、その場で学んだことは、今の私たちの力が必要なこと、元島民の数も、年々少なくなっているということです。北方領土問題について後世に伝えていき、より多くの人にこの問題を知ってほしい。だからこそ、私たちが深くまで情報を持つことで、たくさんの人の中に北方領土が早く返ってきてほしいという願いが生まれ、解決策を出していけるのではないのかと思います。

私の家は昆布漁をしています。夏に約一億円もの大金を、日本はロシア側に支払っています。現状では、四島全てが返還されるのは難しいと思われまます。

そこで私は、齒舞群島、色丹島の二島だけでも返還してもらえば、少しは漁のできる範囲も広がるので良いとは思いますが、二島返還されたら、国後島、択捉島は返還されないでしょう。今までどれだけ返還してほしいと言っても、ロシアは簡単に返してくれませんでした。だから私は、四島返還は極めて難しいと思い、二島返還だけでもしてほしいと思います。

みなさんは、今の北方領土問題についてどう思いますか。中には、どうでもいいと思う人もいるかもしれませんが、でも、私たちが向き合っていないと、何年もこの状態が続いてしまいます。一人一人が向き合い、深く考え、一日でも早く返還されるにはどうしたら良いか考えてみる事が大切です。

今年のロシア人交流会で、すごく優しい人たちがいて、緊張がすぐほぐれ、楽しく交流ができました。もし北方領土が日本に返還されたとしても、ロシア人を追い出すことになってしまうのではないか。ロシア人も日本人と同じ思いをしてしまうのではないか。交流があったからこそ考えられたことです。私もこれから北方領土のことをたくさん知り、一生懸命、考えていきたいです。